

## 指定課題1

## 『人口減少社会における「対流促進型国土」の形成に関する研究』

代表者名	研究テーマ	成果発表の概要
中島 賢太郎 (東北大学)	高速鉄道による時間距離短縮がイノベーション促進に果たす役割について	長野新幹線を対象ケースとし、高速鉄道建設による大都市圏間の時間距離短縮が、イノベーション活動に果たす役割について特許データを用い定量的分析を行った。新幹線建設は、沿線地域のイノベーション活動を量・質ともに向上させたことを示す。

発表予定時刻： 15:00~ 15:25

## 指定課題2

## 『地域課題の解決に関する研究』

代表者名	研究テーマ	成果発表の概要
加登 文学 (舞鶴工業高等専門学校)	京都府北部地域におけるインフラマネジメントとインフラ管理人材の育成に関する研究	京都府北部5市2町の土木技術職員構成の将来推計結果、及び、インフラデータの統合ポートフォリオと今後の事業推計結果を示す。また、インフラ管理人材育成カリキュラムと学生対象教育プログラムの実施結果を示す。

発表予定時刻： 14:25~ 14:50

## 指定課題3

## 『将来の国土利用のあり方に関する研究』

代表者名	研究テーマ	成果発表の概要
林 直樹 (東京大学)	将来的な再居住化の可能性を残した無居住化に関する基礎的研究：農村再生に向けて	「将来的な再居住化の可能性を残した無居住化」という選択肢を構築するため、無居住化した集落の生産基盤・歴史的連続性、全国の他出者の帰村意識についての調査を行い、因果を探索した。その成果及び政策的含意を示す。

発表予定時刻： 15:50~ 16:15

## 指定課題4

## 『国土の基礎的な情報に関する研究』

代表者名	研究テーマ	成果発表の概要
山中 勤 (筑波大学)	下流が上流を支える仕組みづくりに向けた国土情報の活用 -地下水保全策を中心に-	中部山岳地域170地点の河川流量データと国土情報を用いて、水供給・地下水貯留機能の空間構造を地図化した。地下水流動シミュレーションの結果も踏まえ、流域圏上流部を保全するための新たな制度策定に向けた指針を示す。

発表予定時刻： 14:00~ 14:25



## 指定課題5

### 『海外における国土・地域政策研究』

代表者名	研究テーマ	成果発表の概要
久保田 徹 (広島大学)	成長都市ハノイにおける都市マスタープラン改善案としての水と緑の分散配置による都市高温化緩和策の共同提案	ハノイの政府機関との連携の下、 ①水と緑の分散配置による都市高温化緩和策を提案し ②その緩和策による気温低減効果と住宅の冷房用エネルギー消費量の削減効果をシミュレーションによって示す。

発表予定時刻: 13:35~ 14:00

代表者名	研究テーマ	成果発表の概要
小松崎 俊作 (東京大学)	景観デザインによる社会イノベーションのメカニズム分析: コロンビア・メデジン市のベレン公園図書館と福岡市警固公園との比較	ともに治安上の問題を抱えたコロンビア・メデジン市と福岡市天神地区を対象として、利用者・周辺住民らの行動変容、さらにはそれによる社会イノベーションを起こすような景観デザインの特徴と、変容のメカニズムを仮説的に示す。

発表予定時刻: 15:25~ 15:50

(敬称略、50音順)

## 【傍聴申込み方法】

Eメールにて、下記アドレス宛、お申し込み下さい。

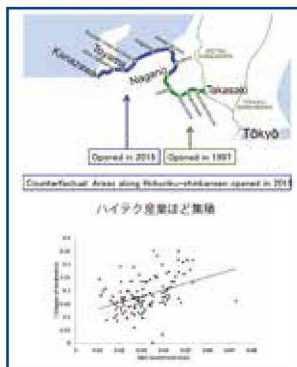
宛先: kokudojosei@omc.co.jp

締め切り: 2月29日(月)17:00

件名に「国土政策関係研究支援事業(傍聴希望)」と明記し、お名前、電話番号、勤務先を記載の上、傍聴を希望する研究名をご記入下さい。全研究を希望する場合は、全研究とお書き下さい。

## 【成果の一例】

### < 指定課題 1 >



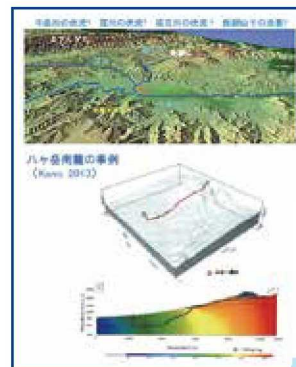
高速鉄道新線開通効果分析

### < 指定課題 3 >



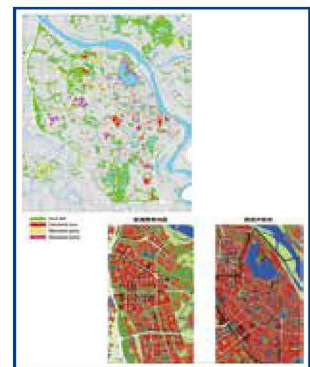
都無居住化集落の再居住化可能性分析

### < 指定課題 4 >



地下水流動シミュレーション

### < 指定課題 5 >



都市高温化緩和策「水・緑の分散配置計画」

